

人大ボラ連世話人代表からひとこと

大島修三（国際6期）



人大ボラ連は、江戸川区のボランティア活動がより素晴らしいものになるように、との思いを込めて発足しました。2年前のことです。お互いの活動内容の情報発信・共有、そして顔見知りになって助け合って、地域の皆さんによりお役にたつようになることを目指しています。今年から、以前の事務局に代わり「世話人会」を立ち上げました。皆さんのところにお邪魔したり、皆さんが集える場を計画したり、色々やっています。ご支援ください！！

江戸川区は東京都23区での外国人登録数第2位（2014年4月現在 23,442人）で外国人との共生に関心を持たねばなりません。江戸川区10年プランによれば「世界からの人々が共生する地域社会の構築」に向かって取り組むことが宣言されています。人生大学の外国人の方々を対象にしたボランティアグループ、特に日本語教室を開催しているグループを6月に訪問し、現状の把握を行いました。



国際江戸端会議
代表：端計子（国際2期）

2006年11月、国際江戸端会議としてスタート。

2009年3月、日本語サロンEdobataとして再出発。

毎週土曜日13:30~15:30

月4回清新町コミュニティ会館で開催。

「ゆったりと安心して日本人とふれあえる」をモットーに外国人との話し相手・相談に乗ったり相互理解を深めている。



江戸川にほんごクラブ
代表：松村勝之（国際5期）

1994年11月、地域の小学校の教師が区の要請を受けクラブを発足させた。

毎週金曜日19:00~21:00までグリーンパレスで開催。

日本語を通して外国人との交流を深め豊かな人間性を養うことを目標とし、地域の事業所に勤める技能実習生が比較的多く、新年会・スピーチコンテスト・防災体験等のイベントも実施している。



小岩日本語クラブ
代表：戸塚弘（国際2期）

江戸川区の働きかけで日本語指導講習会参加者で1996年11月に立ち上げた。

毎週日曜日10:00~12:00まで小岩図書館で開催。

「楽しく学ぶ」を基本とし、会話重視で教室外でも相談に乗る非常に温かい雰囲気活動が進められている。生徒だったメンバーが先生役のスタッフの役割を担い外国人との共生に向かっている。

各グループ共通の課題として、①日本語教室を開催する場所の確保に苦勞している、②スタッフの高齢化と運営スタッフの確保、があげられる。

各グループとも外国人の参加者からは1回100円を徴収しているが、会の運営資金はボランティアスタッフの会費とボラセンからの助成金で成り立っている。マンツーマンをベースに教材も各グループそれぞれ独自に特徴のある教材を準備し対応しているが、外国人子女の日本語能力問題が地域に影響を与えることが憂慮されている。行政がきちんとした方向付けをしてボランティアグループとの協働が望まれる。



日本語教室教材



教室開催日は各グループのスケジュールを確認してください。

世話人会だよりは同窓会及び人大HPに掲載します

人大ボラ連絡先：jindaiboraren@yahoo.co.jp